

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： ボランティア実習 ナンバリング：1007	保育士資格取得のための 選択科目	単位数：1単位 (半期)実習	担当教員名：三友玲子 担当形態：単独
系列	教養科目		
教科目	外国語、体育以外の科目		
授業の到達目標及びテーマ 1. ボランティアとは何かを知り、なぜするのか、どのようにするのか、そのための具体的な取り組みはどのように行うのか（活動の立案、安全な実施、終了後の自己評価、次への改善）をボランティア活動を通して「ボランティア活動とは何か」を体験的に理解できる。 2. ボランティア活動を行う中から、自らのボランティア観で行ったボランティア体験の中からその過程や結果が発信できる。 3. ボランティア活動の意義を自らの経験から説明し、未経験者にアドバイスができる。			
授業の概要 参加したボランティア活動についての計画・活動・検証・反省などの発表・討議を中心に授業を構成する。また、実習の事前指導が重要と考えて講義とグループワークで行う。			
授業計画 第1回：どのようなボランティア活動があるかを知る。 第2回：実施する団体を調べ、「参加許可→報告」の書類を理解する。 第3回：団体の状況を調べ、何を目的に行うかを明らかにする。 第4回：ボランティア活動の状況を調べ、理解し、特徴を知る。 第5回：ボランティア活動の状況を調べ、ボランティアの使命を知る。 第6回：ボランティア活動の状況を調べ、課題を理解し、問題点を知る。 第7回：自身のボランティア活動を整理、成果発表・コメント 第8回：自身のボランティア活動を整理、成果発表・コメント 第9回：自身のボランティア活動を整理、成果発表・コメント 第10回：自身のボランティア活動を整理、成果発表・コメント 第11回：自身のボランティア活動を整理、成果発表・コメント 第12回：自身のボランティア活動を整理、成果発表・コメント 第13回：自身のボランティア活動を整理、成果発表・コメント 第14回：自身のボランティア活動を整理、成果発表・コメント 第15回：自身のボランティア活動を整理、成果発表・コメント 定期試験：レポート・意見発表		授業時間外の学習 1. 本学の掲示板やインターネットでさがす。（1時間） 3. 市役所(役場)に聞いたり、ネットで調べる。（1時間） 4. 団体等とアポをとる（1時間） 6. 必要な用紙の準備（1時間間） 7. 図書館・ネット調べ（1時間） 8. 用紙に書けるところをあらかじめ埋めておく。（1時間） 13. お礼を兼ねて団体に出向いて証明を受ける。（1時間） 実施後「活動の記録(1)(2)」を作成・提出する。（30分） 「ボランティア活動の記録」に実施団体の証明を受ける。（30分）	
授業の方法 講義形式とグループワーク形式の併用型授業で行う。毎回の授業で実習までの経過発表や体験発表を行う。活動への参加は、教員から指導を受けてボランティア活動先を探し、事前にボランティア活動計画書と所定の「ボランティア参加許可願」を提出する。ボランティアを実施する過程で「活動の記録(1)(2)」を作成し、プレゼンテーションする。プレゼンテーション後、ディスカッションをとおしてフィードバックを行う。			
テキスト 概論と同じ 『学生のためのボランティア論』 岡本栄一・菅井直也・妻鹿ふみ子 参考書・参考資料等 プリント等随時紹介する。			
学生に対する評価 活動内容の記録（50%）・活動発表（30%）・計画発表（10%）、授業参画度等（10%）による。			
履修上の注意 ボランティア実習を履修する学生は、「ボランティア概論」の履修の単位取得が必須条件である。実習総時間数24時間のボランティア活動が期限までに終了出来ないときは不合格となるので、計画的にできるだけ早い時期の実施に留意する。教員との「相談・連絡・報告」が重要となる。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を活かした教育内容			